

**（仮称）網野交流センター・交流広場整備基本計画
（案）**

令和6年●月

京丹後市

目次

第1章 計画地の現況	1
1. 計画地の現況	3
1) 計画地の位置	3
2) 計画地の現状	5
2. 上位・関連計画の整理	9
1) 上位計画の整理	9
2) 関連計画の整理	10
3. 計画地に関するこれまでの経緯	14
1) 経緯	14
第2章 ニーズ把握	17
1. 検討会議における地域ニーズ	19
2. 第1回ワークショップ	23
1) 第1回ワークショップの開催概要	23
2) 第1回ワークショップの主な意見	23
3. 「ら・ぽと」におけるポスター展その1	27
1) 網野庁舎跡地活用のポスター展の開催概要	27
2) ポスター展における主な意見	27
4. 第2回ワークショップ	28
1) 第2回ワークショップの開催概要	28
2) 第2回ワークショップの主な意見	28
5. 「ら・ぽと」におけるポスター展その2	29
1) 網野庁舎跡地活用のポスター展の開催概要	29
2) ポスター展における主な意見	29
6. 地域ニーズの整理	30
第3章 施設コンセプト及び施設機能の検討	31
1. 施設コンセプトの検討	33
2. 施設機能の検討	34
1) 施設機能の導入検討	34
2) 集客機能の検討	37
3. 施設規模の検討	40
4. 環境・防災対策の検討	41
1) 環境に配慮した施設計画	41
2) 防災性を高める施設計画	42
第4章 整備イメージ	44
1. 計画敷地の施設配置検討	46
1) 一体運営タイプの施設配置パターン	46

2) 分割管理タイプの施設配置パターン	47
2. ユニバーサルデザインの検討	49
1) 京都府の指針を反映した施設計画	49
2) 思いやりのあるユニバーサルデザイン	49
3. 施設整備計画及びイメージ図	50
第5章 概算事業費及び事業スケジュール	58
1. 概算施工費	60
2. 事業スケジュール	62
第6章 事業手法の検討	64
1. 事業手法の検討	66
1) 他事例の調査	66
2) 事業手法	67
3) 事業手法の比較	68
4) 事業手法の検討	69
資 料	70
1. 検討経過	70

第1章 計画地の現況

第 1 章 計画地の現況

1. 計画地の現況

1) 計画地の位置

計画地は、網野庁舎跡地である京丹後市網野町網野 353-1 となります。

この用地は、旧網野町役場として昭和 43 年 6 月に竣工し、平成 16 年 4 月の 6 町合併による京丹後市発足後も分庁舎方式により、網野庁舎として活用され、約 50 年の間、市民の方々に親しまれてきましたが、経年による老朽化により網野庁舎の解体を決定し、平成 30 年 12 月に解体の実施設計に着手。令和 2 年 6 月に解体工事が完了した場所となっています。

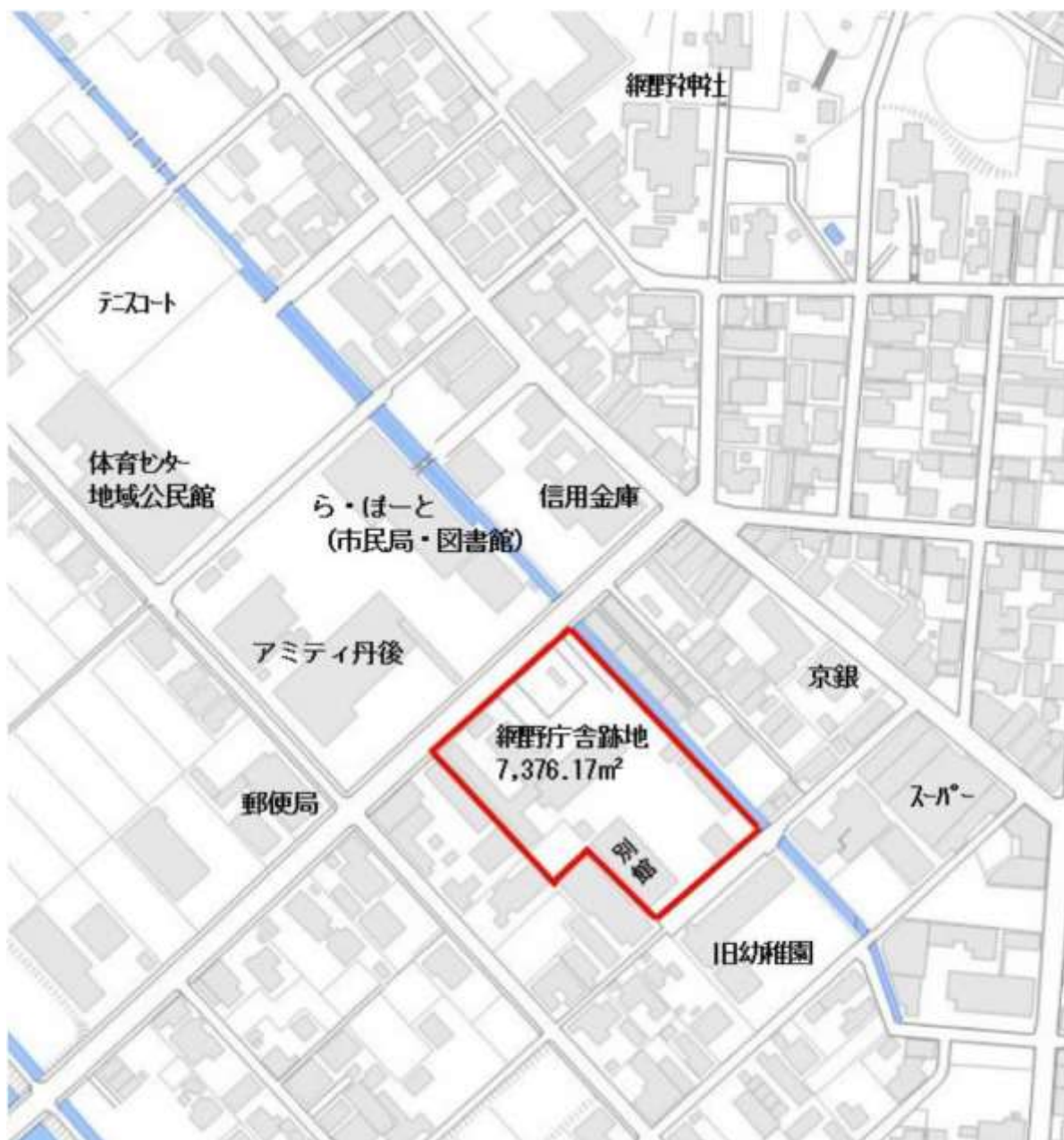
計画地は、網野町の中心市街地に位置し、近隣には金融、郵便、医療機関、スーパー、小規模店、地場産業振興センター、市民局、図書館、体育センター等、日常生活に必要な諸機能が集積している立地のため、地域の方が集まりやすく利便性のある場所となっています。

	所在地	用地面積（台帳より）
計画地	京丹後市網野町網野 353-1	7,376.17 m ²

□位置図（広域）



□位置図（周辺地域）



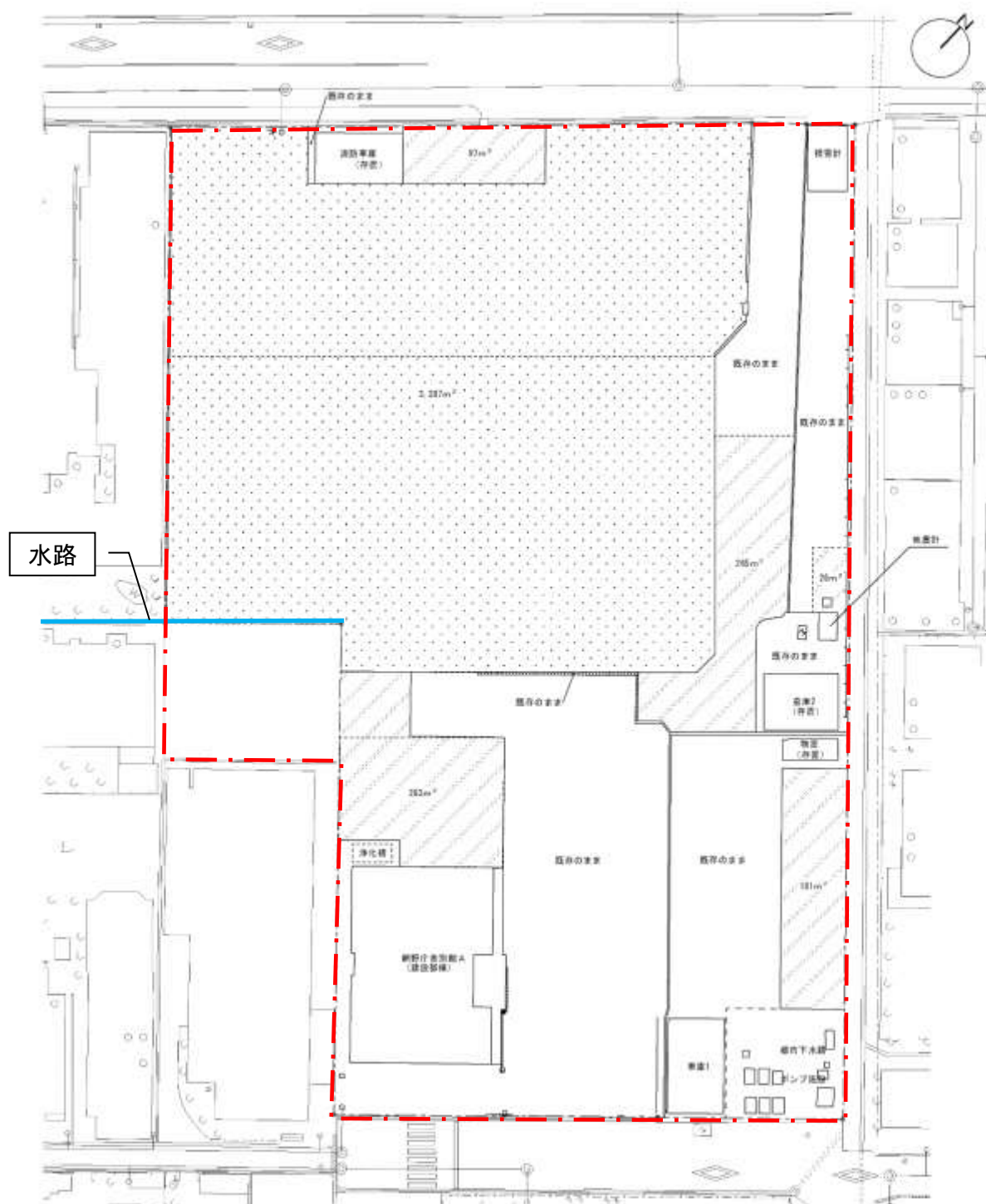
※網野庁舎跡地 敷地面積 7,376.17 ㎡（台帳面積より）

2) 計画地の現状

① 計画地の状況

計画地は、網野庁舎の跡地ですが、今も網野庁舎別館、消防車庫、積雪計、地震計、ポンプ施設、倉庫（2カ所）、物置などの既存施設が残っています。また、法定外公共物の水路が敷地内の一部を通っています。

□ 敷地図



□網野庁舎別館



□消防車庫



□積雪計



□地震計



□ポンプ施設



□倉庫



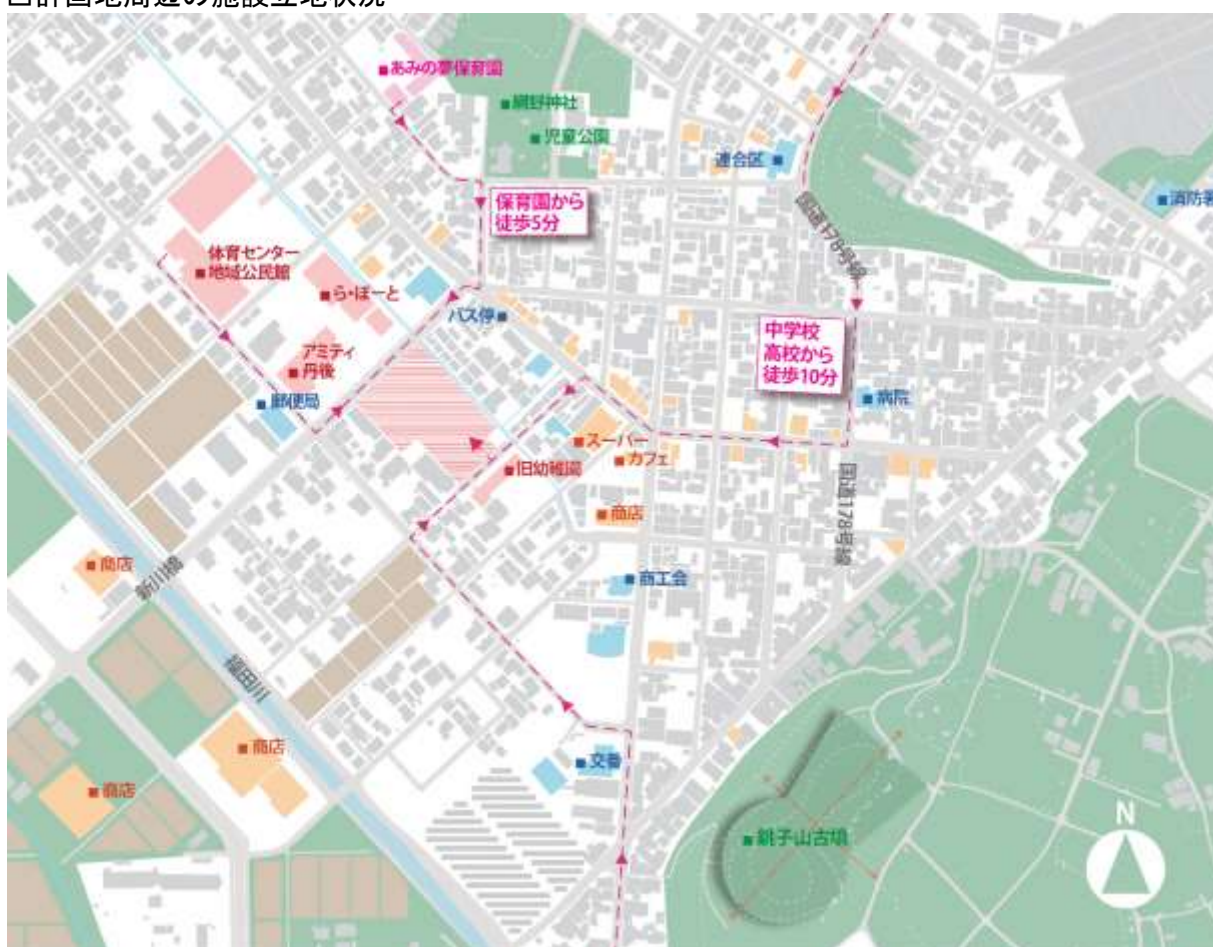
②計画地周辺状況

計画地は、網野町の中心市街地であることから、隣接して図書館のある「ら・ぽーと」や物産販売施設のある丹後地域地場産振興センター「アミティ丹後」、網野体育センターなどの公共施設、京都北都信用金庫網野支店、JA 京都網野支所、網野郵便局など公益施設、にしがき網野店、フレッシュバザール網野店、コメリハード&グリーン網野店などが立地しており、地域の暮らしに必要な施設が集積しています。

また、あみの夢保育園、京丹後市立網野南小学校、京丹後市立網野中学校などの教育施設も充実しています。

その他、地域の歴史文化遺産である網野銚子山古墳が隣接しています。

□計画地周辺の施設立地状況



□ら・ぽーと



□アミティ丹後



□網野体育センター



□あみの夢保育園



□京丹後市立網野南小学校



□京丹後市立網野中学校



□網野銚子山古墳



2. 上位・関連計画の整理

1) 上位計画の整理

① 第2次京丹後市総合計画（基本構想・基本計画）

項目	計画内容
計画期間	基本構想 2015 年～2024 年（10 年間） 基本計画 2021 年～2024 年（4 年間）
目指す像	基本理念 自治と協働によって進めるまちづくり 目標 ① 歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち ② 美しいふるさととの自然環境を守り次代に継承するまち ③ 健やかで生きがいのある暮らしを実現するまち ④ 安全で安心して暮らせるまち ⑤ お互いに支え合い、助け合うまち ⑥ 次代を担う子どもたちが「学び」を通じて夢をいただき、いきいきと成長するまち ⑦ 誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまち 将来像 ひと みず みどり 市民総参加で飛躍するまち 北近畿新時代へ和のちから輝く 京丹後
基本構想	地域拠点 市内各町の市街地を形成する地区は、その周辺の発展を先導し、地域に適したサービスを提供する地域拠点として位置付け、地域振興機能を充実させるとともに、コミュニティ拠点として活性化をめざします。

2) 関連計画の整理

①京丹後市都市計画マスタープラン

項目	計画内容
計画期間	目標年次 2024 年
将来都市像	人と経済・文化が交流する 活力あふれる北近畿の拠点都市
全体構想	都市構造 鳥取豊岡宮津自動車道や国道 312 号など本市の南北軸となる主要な道路とその沿道、また、駅周辺を基本として、総合計画の都市機能構想による「軸・ゾーン・拠点」を設定し、土地利用計画と都市基盤整備を進め、公共交通ネットワークの充実による多極ネットワーク型のまちづくりを進めます。 地域拠点 市内各町においては、行政施設を核とした一定の 都市を形成しているため、その「地域の顔」となる 市街地機能を継承しつつ、地域資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、日常生活に必要な諸機能を集積し、地域拠点としての活性化を図ります。 

②京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想

項目	計画内容
策定日	令和4年3月
基本理念	幼少期からの「ひと」とのつながりや関わりを大切にして郷土愛を育み、故郷に帰る原動力につなげていく場所、市内外の「まち」をつなげて交流人口・関係人口の増加を目指していく場所、網野銚子山古墳に代表される「歴史」文化等の地域資源とのつながりを発信していく場所 <u>「ひと」と「まち」と「歴史」がつながり いきいき わくわく まちの未来を育む交流拠点</u>
施設整備の基本方針	①まちの協働・共創と学び合いの場 ②多世代交流(子どもからおじいちゃん・おばあちゃん)の場 ③子育て親子の交流と遊びの場 ④若者が未来へとチャレンジする場 ⑤まちの歴史と魅力を発信する場
跡地活用施設の内容	○誰でも集える『第三の居場所』 自宅、職場や学校から離れて気軽に集える、交流ができる居場所 【屋外】 ○あみの広場 『子ども“遊び”スペース』 『スポーツ“エンジョイ”スペース』 『こころとからだの“くつろぎ快適”スペース』 【屋内】 ○親子同士楽しめる『子育て交流スペース』 ○いろいろな活動や打合せができる『コミュニティルーム』 ○パソコンを持って気軽に寄れる『ワーキングカフェ』 新しい働き方にも対応し、利用者同士のコミュニケーションも生まれる ○みんながチャレンジする『あみのスペース』 出会い、交流、音楽、ダンスなどみんなが自由に使える交流・チャレンジスペース ○みんなで使える『あみのキッチン』 料理教室からご飯会など食を通した交流スペース ○まちの魅力と歴史を発信『あみのコンシェルジュ』

□施設・設備の検討例

	視点・機能	目的	施設・設備の検討例
(仮称) 市 民 交 流 広 場	交流 賑わい	子育て世代や多世代の交流を図り、地域子ども達が安心して遊べる場、また、来る人がワクワクして集える場の創出	・スポーツ施設（3X3 バスケットコート・ボルダリング・スケートボード） ・遊具施設（屋根付き、砂場、アスレチック等） ・芝生広場（ベンチ、夜間照明） ・緑化スペース（桜、紅葉） ・屋外ステージ ・E V 充電スペース ・朝市スペース ・W i - F i 設備
	チャレンジ	アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場の創出	・コンテナハウス（キッチンカースペース）
	観光	市外の人にも気軽に来てもらえる場にする事で、交流人口、関係人口を創出	・駐車場、駐輪場 ・バスターミナル
(仮称) 市 民 交 流 セ ン タ ー	交流 賑わい チャレンジ	子育て世代や多世代の交流を図り、住民自らが地域について話し合える場等、多様な使い方ができる場を創出。また、アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場を創出	・子育て交流スペース ・交流スペース（憩いのスペース） ・I T スペース（プログラミング学習、コワーキング） ・スタジオ（防音、音響設備、壁面鏡 等） ・キッチン ・フリースペース ・網野版 roots ・講座、集会室
	観光 歴史	魅力あるまちを発信する場であり、網野銚子山古墳をはじめとしたまちの誇る地域資源や歴史文化を発信する場を創出	・網野銚子山古墳を望む展望台 ・歴史展示スペース ・E バイク、レンタサイクル ・観光ガイド

	視点・機能	目的	施設・設備の検討例
	運営 コーディネート	集い交流する場として市民の参画による運営を目指すとともに、積極的な交流や連携を促す	・ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレ等 ・エレベーター ・W i - F i 設備 ・カフェ・物販等公募（自動販売機も含む） ・管理事務室の設置

3. 計画地に関するこれまでの経緯

1) 経緯

計画地にあった網野庁舎は、旧網野町役場として昭和 43 年 6 月に竣工し、平成 16 年 4 月の 6 町合併による京丹後市発足後も分庁舎方式により、庁舎として活用されてきました。約 50 年の間、市民の方々に親しまれてきましたが、経年による老朽化により網野庁舎の解体を決定し、平成 30 年 12 月に解体の実施設計に着手。令和 2 年 6 月に解体工事が完了しました。

このような状況を受けて、跡地の有効活用について市から区長会へ検討を依頼したことから、平成 30 年 4 月に網野町区長連絡協議会に「庁舎・跡地検討チーム」が発足しました。その後、「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみのみんなのスペース未来ラボ（通称：あみラボ）が発足しました。あみラボで検討を重ねた結果を踏まえ、網野町区長連絡協議会が網野庁舎跡地活用構想（提言）をまとめ、令和 2 年 3 月に市長に提言書を提出しました。

提言を受けた市は、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議を設置し、令和 3 年 10 月 11 日から 4 回の会議を重ね、京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想を令和 4 年 3 月に策定しました。

□京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議

	開催日	議題
第 1 回	令和 3 年 10 月 11 日	1. これまでの経過について ・ 網野庁舎跡地活用構想（提言） ・ まちづくりグランドデザイン推進事業 2. 本検討会議の役割と開催スケジュールについて 3. 地域拠点について ① 話題提供 「公共施設は誰のものか？—市民参加・協働・コミュニティの視点の中心に—」 ② 網野庁舎跡地活用構想について 拠点（施設）を活用した地域の活性化について（意見交換）
第 2 回	令和 3 年 11 月 22 日	1. 第 1 回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意見概要 2. 網野庁舎跡地活用構想（提言）のコンセプト、基本方針など、提言の核となる部分について ① 現状認識（市の課題、網野の強み）について ② 周辺エリアとの関係性（一体性、地域性、機能性、環境性）について ③ コンセプト、基本方針について

	開催日	議題
		3.跡地活用施設の整備内容について意見交換 ①交流広場について ②交流センターについて
第3回	令和3年 12月27日	1.「まちづくりグランドデザイン推進事業」におけるその他の検討 会議の進捗状況 2.第2回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意 見概要と跡地活用施設の整備内容意見について（ワークショップ 形式） 3.京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討
第4回	令和4年 1月24日	1.第3回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意 見概要 2.京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討
市長へ の報告	令和4年 4月15日	京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議で取りまとめた「京丹後市 網野庁舎跡地活用基本構想」について、同検討会議から市長への報 告が行われました

第2章 ニーズ把握

第2章 ニーズ把握

1. 検討会議における地域ニーズ

網野庁舎跡地活用構想検討会議で具体的なニーズ把握とそれに基づく跡地活用についての検討が行われました。

ここでは、網野庁舎跡地活用構想検討会議(1回～4回)での主な意見を下記に取りまとめました。

□網野庁舎跡地活用構想検討会議の主な意見

	NO.	内容
交流	1	子ども達が楽しく安心して過ごせ、多世代の交流ができる施設。
	2	体育館、図書館、地場産センターなどをうまく連結させ、皆がワクワクして大勢の方が集まれる場所にできたら。
	3	誰でも集えるということが大切。子供にとっても高齢者との触れ合いは大切。
	4	お母さん達が集えるコーナーがあるのは素晴らしい。
	5	子どもがやりたい、大人がやりたいを叶えてもらえるスペース、一緒にやろうと言ってくれるスペースになれば。(roots:京丹後市未来チャレンジ交流センターのような)
	6	若者のアイデアを高齢者がサポートするとか、高校生が意見を言っても恥ずかしくない空気づくり。
	7	あみラボに参加してくれた学生たちの想いが完成した後も広がって話し合えるような roots のような部活帰りに立ち寄れる場所が常設であれば。夜の町を明るくする意味でもいいと思う。
	8	施設の稼働率を議論する上で、利用ターゲットが地域住民だけなのか、移住者であるとか外部の方々に網野に来た人が自由に使えるとかある中で、工芸繊維大学のキャンパスは各大学の学生が自由に使えるようになっているので、そのように地域外の学生が利用できる施設もいい。
	9	京丹後市で取り組んでいる「新たな地域コミュニティ」づくりの課題研究が出来るよう地域の方が集まれる、網野町の中央公民館のような場所になれば。
	10	男女が気軽に集えるような場所。会話の場であるとかイベントが出来る場所。それをサポートしていける場所があれば。
	11	仕事生まれる、繋がる場所。「起点」という意味でいい場所だと思う。コロナの影響で働き方も変わってきている。柔軟な形で起業する若者に役立ててもらえる場所に。
	12	若者や移住者のチャレンジの場を、建物の外でコンテナハウスやキッチンカーといった形で利用できたら。
	13	学生の考えを具現化できる建屋にするべき。実際に店を設けて自分たちが作ったものを売れるような機会作りが出来れば。
	14	気軽に足を運んでももらえるような居心地のいい場所を作っていかなければいけない。
	15	旧網野幼稚園も構想に盛り込めれば、子ども向けの施設は旧網野幼稚園といった使い分けができるかと思う。
	16	今回の構想のメインは人の繋がりをいかに持たせていくかだと思う。
	17	「居場所」というキーワードが欲しい。「職場や学校」でもない、「3番目の居場所」がどんどん減っている。「ここに居ていいんだ」、「居たいと思う」というような居場所という言葉がどこかに入るといいのではないかな。
	18	パソコンが使えない人達を指導してもらえるような場所があったらいいと思う。
	19	子育て、母子交流スペースは、おもちゃや絵本を置くことを考えて広くとるべき。

	NO.	内容
施設整備	20	子育て、母子交流スペースから芝生広場がしっかり見えるような配置に（兄弟の様子が分かるように）
	21	オープンスペースを作って待ち合わせ場所や休憩場所等の多様な使い方をできるようにする。
	22	スクリーン、プロジェクターを完備した講座・集会室を作ってはどうか（30～40 人規模）
	23	音楽スタジオを完備（防音、音響設備）してはどうか。練習の場所として使ってもらい、発表の場所をアミティとすることで相互利用も可能。
	24	コンテナハウスの案をイメージ図に入れてもらえれば。
	25	遊具を設置すると錆びたり問題がでてくる。屋根があり避暑や雨避けが出来る中で、遊具でなくても砂場や小山があれば小さい子が遊べるのではないか。（屋根付き遊具だけでなく、砂場等と例示）
	26	スタジオ設備について、鏡があればダンス練習にも使えるので、使いたい人が増えるのではと思う。（壁面鏡を例示）
	27	公園（芝生広場）については、メイン通りに面していた方が、人通りが多いので安全。
	28	小学生が学習の一環で、展望台から古墳を見て歴史について学んでいただけたら素晴らしい。
	29	2 階の展望台から前方後円墳を眺められるのは素晴らしい。
	30	前方後円墳の形はインパクトがある。具体的な建築の段階に入ったときに、たくさんの方の意見や思いが少しでも反映された建物になってほしい。
	31	施設は古墳の形にとらわれなくても、歴史が学べるようなものが施設の中にあれば。
	32	使い勝手を考えると古墳を模した形の施設は難しいと思う。それを補う意味で、屋上に展望台を設置して、写真撮影の場所にしてもらえれば、銚子山古墳の知名度も上がるのではないか。
	33	古墳の形を模したインパクトのある建物があってもいいのではないか。この建物の案があったからこそ、たくさんの意見や思いがこれまで出てきたと思う
	34	「子育てスペースと母親交流スペース」は、ジェンダーレスを考慮して「子育て交流スペース」だけでよい。
	35	建物の形は大事であり、行ってみたいという感情が湧くようなものがよい（古墳を模したもの）
	36	古墳の形の建物で部屋を区切るとなると、使い勝手が悪そう。少しでも古墳をイメージできる工夫を考えていただけたら。
	37	古墳を模したような形のなかで、アスレチックなど、何か遊べるような仕掛けができないか。
	38	建物については、バスなどの交通アクセスの面と日照の面を考えると市道網野下岡線に対して平行に建てる方がいい。
賑わい	39	防災上のことを考えると、災害時の炊き出しなどを考えれば今回設置させる遊具やベンチにも防災の観点を入れてはどうか。
	40	広場がある以上、トイレは休みの日でも使えるように建物の外から使える工夫があれば。
	41	盛り込みたい内容をすべてこの施設だけで補おうとしていると感じる。子ども達が集まれるスペースは建物でないとできないわけではない。充実した公園でも出来ると思うし、建物に全部の機能を満たそうとすることは止めた方がいいのでは。もっと要素を絞って、特徴のあるものを作っていけばいい。
	42	網野らしさを活かした施設の特徴を入れるべき。
	43	この施設が地域交通のプラットフォーム的な場所になれば、さらに良い地域づくりが出来る。
賑わい	44	若い世代にも来てもらえるよう、楽しいことを発信していけたら。
	45	バスケットコートや公園など、みんなが集まって楽しめる場所にできたら。
	46	日頃行っている活動を発表する場所が少ない。小規模な形でも発表の場が出来ればうれしい。フリースペースといった形で柔軟な使用ができるようにしてもらいたい。
	47	オンラインでのイベントが増えている中で、小さなグループだけでも講演会や動画が見ることが出来るスペースがあれば。

	NO.	内容
	48	個室でなくても周りが気にならない程度で仕事出来るスペースがあれば。
	49	兵庫県にある植村直己冒険館の子ども用のボルダリングや木で出来たおもちゃが素晴らしかった。島津連合区でも木材を使ったおもちゃで遊んでもらう取り組みをされているので、そういった活動をこの会議にも教えていただきたい。雨が降っても子ども達が遊べる場ができればいい。
	50	こどもやお年寄り、車で移動しにくい人たちが集まれる場所となれば、峰山に出来る増築棟整備とは内容は重ならないと思う。
	51	現在アミティで出店している朝市は、新しい建物が出来るのであれば、移設したほうが賑わいも生まれるのではないかなと思う。
	52	他にはないから足を運んでもらえるような何か、他と同じではだめ。子ども、お年寄り、若者がもう1回行ってみたいかなと思えるような場所にして、網野に足を運んでもらうのが大事ではないか。
	53	網野町では料理教室や子ども食堂ができるような場所がない。子ども達も自転車で来られるような立地なので、勉強会や料理講習ができるようなオープンスペースのキッチンがあればいいと思う。また災害が起きたときに炊き出しなどをするのにとてもいい場所。
	54	旧網野幼稚園と今回の施設を渡り廊下で繋ぐのもいいのでは。
	55	近隣の施設にはそれぞれの役割がある。今回の施設はそれらを補完するような形で使われてくれればいいと思う。
運営・管理	56	施設の運営にはお金がかかるため、少しでもお金が生まれるような施設の運用の仕方を。
	57	運営という面をしっかりと考えていかないといけない。費用的なことも含め、議論の中に含めてほしい。
	58	放課後児童クラブのような、子ども達が自由に集まれて、スポーツや遊びを通して教育的なことができる場所であれば。そう考えると、施設を運営する人間が常駐しなければいけなく、その役目が誰になるのかも考えるべき。
	59	運営管理についてある程度決めておくべきなのでは。サービスを提供する人は誰なのか。スペースがあるだけなのか、運営スタッフが常駐するのか分からない。
	60	施設規模から考えてかなりの管理費用が想定される。持続的に運営していく仕掛けづくりをどう考えるかが大切だと思う。
	61	区長連絡協議会のほうでも、運営に関しては市と議論をしていかなければいけないと思う。
	62	今ある公園ですら遊具の維持管理が難しい。新しい遊具を整備してどこまで維持できるか。
機運醸成	63	施設ができる前から跡地を使ってイベントをしてみるなど、町の人達が跡地活用について知って、考える機会を作るべき。実際に使ってみると問題点が見えてくる。
	64	提言書の中では、多機能に使えるスペースも多く設けている。施設ができる前から文化体育団体、子育て世代が真剣に検討していけば、議論が進みやすくなると思う。
	65	あみラボに参加していない方の感性や想いを肉付けしていければ。
	66	提言書を作成した際に調査した「京丹後市のまちづくりに関するアンケート」で網野町の中学3年生147人からの回答の結果、10人に6人以上が社会人になったら京丹後市に住み続けたくないと回答している。この結果を受けて、小さい時から繋がりや関わりを育てていけば、将来に向けていい結果になるのではないかと思います。提言の中のコンセプト「繋がる」を決めた。
観光	67	観光で魅力ある町を発信する場所でありたい。Eバイク、大学生の合宿など、対外的な関係人口、交流人口をこの施設から発信して増やせていけたら。
	68	網野の地域は、観光のメイン拠点だと思うので、その中で何かチャレンジできるようなきっかけ作りにも今回の場所がなればいい。
	69	観光で丹後をどう知ってもらうかは、地域の人がどう迎えてくれるか、どう繋がっていくかということが大事。ぜひそういう場があれば。

	NO.	内容
	70	今回の構想が全体的に古墳をテーマにして作っていくのであれば、古墳の町としてももう少しコンテンツを入れていく必要があると感じる。今回の施設だけが古墳を模しているだけでは、町としての統一性が取れなくなってくる不安がある。
	71	これまで活かされてなかった古墳をこの機会に形だけではなくて中身もあるというPRの仕方が大切。
	72	京丹後市にある文化施設を活用したツアーなど、市の文化に触れてもらう形を考えていければ。

2. 第1回ワークショップ

1) 第1回ワークショップの開催概要

第1回ワークショップは、令和4年11月26日にアミティ丹後2階講座室A・Bにおいて13人の市民が参加して、2つのテーマを基に、話し合いを実施しました。

2) 第1回ワークショップの主な意見

- 【テーマ1】 基本構想・プロポーザル案について改めて何を感じる？網野庁舎跡地はどうなるとよい？
- 【テーマ2】 網野庁舎跡地に、どんなコンテンツがあると持続的に地域活性化する？



テーマ1：基本構想・プロポーザル案について改めて何を思う？
30分
網野庁舎跡地はどうなるという？

テーブル番号
A



テーマ1：基本構想・プロポーザル案について改めて何を思う？
30分
網野庁舎跡地はどうなるという？

テーブル番号
B



テーマ1：基本構想・プロポーザル案について改めて何を思う？
30分
網野庁舎跡地はどうなるという？

テーブル番号
C



《第1回ワークショップ意見まとめ》

■貸し室、コミュニティセンター機能

- ・アミティより安く貸し室を使用したい。
- ◎網野に文化活動ができる場がない。（ダンス、音楽→子ども向け）
- 柔軟に間仕切り。（防音をどうするか。）
- ・カルチャースクール（ダンス、太極拳）
- 子ども向け
- ・ワーキングスペース
- ・合唱、楽器、太極拳、三味線などの教室
- ・油絵、軽音楽、サークル活動
- ・文化講習センター
- ・フリースクール
- ・ホール
- ・少しの待合場所
- ・集の場。特に冬は薪ストーブのある空間。
- ・文化施設が良い。みんなが集まる。
- ・コンサート、ダンス、楽器の講習、カルチャー教室ができるスタジオ

■飲食・購買

- ・軽食程度のカフェ
- カフェはアミティのシルクがある。
- ・大屋根を設け屋台が常駐
- ・屋台、自販機でも良いかもしれない。
- ・カニ、魚の販売
- ・食堂・レストラン

■新しい施設でしたいこと、欲しい設備

- ・大屋根（大テント）、夏は日除け、雨よけ
- ・網野は風が強いので、建物は防風
- ・「にぎわい」の意味。電気の灯った施設
- ・芝生広場
- ・絹織物（ちりめん）体験・工房
- ・手機の工房
- ・美術館のようなものはいらない
- ・サウナ
- ・サウナは市内の温泉を利用すれば良い
- ・サーフィン、SUP いらない

■周辺施設、街との連携

- ・今周囲にある施設と同じようなものを作っても良くない。
- ・建物を無理してつくる必要があるのか。既存の建物をうまく改修して使えないか。
- ・周辺施設（体育館、）との通摂
- ・バーができたり、提灯屋ができたり、面白い動きが網野で起きているのでうまく活かせるように。
- 網野ならではの施設。
- ・ショップ・アミティがある。
- ・スポーツ関連の施設は現体育館に集約。
- ・旧幼稚園の活用。託児所、宅老所として活用。
- ・網野神社の児重遊園地、愛宕山を利用して。
- ・今のある施設の活用を考える。
- ・今の設備をいかに利用するかを考えた方が良い。
- ・周辺施設との関連。（幼稚園、神社、体育館、温泉など）ないものを造れば

■子ども

- ・子どもがいかに施設に関わってもらえるか
- ・雨の日でも遊んでもらうようにする
- ・放課後に遊べる場所
- ・子どものサードプレイス
- ・子どもが遊べる場所と母親同士の交流
- ・子どもが外に出るきっかけ。創造的な活動。
- ・いつも綺麗な砂場
- ・子どもの屋内遊び施設。屋外はシーサイドパークがあるのでは。
- ・屋内の遊び場。外は八丁浜がある
- ・旧幼稚園の活用。園庭も含め、子どもが集う場所

■地域拠点、観光拠点

- ・網野の魅力を発信する施設。
- ・歴史文化を発信する施設
- ・地域外からの人も施設に来てもらいたい。
- ・レンタサイクル
- ・国際交流の場（蜂山にはある）
- ・研修用宿泊施設
- ・観光拠点

■管理・運営について

- ・管理する人は必要。
- ・民間が運営した方が良い。
- ・役所が設置？民間の可能性は低いのでは。
- 民間の可能性として、コインランドリー。
- ・待ち時間でコミュニケーションが生まれる。
- ・利用者以外で関わるとしたら収益性が大切
- ・周辺施設にホールを追加。新しい施設には不費。

■その他・課題

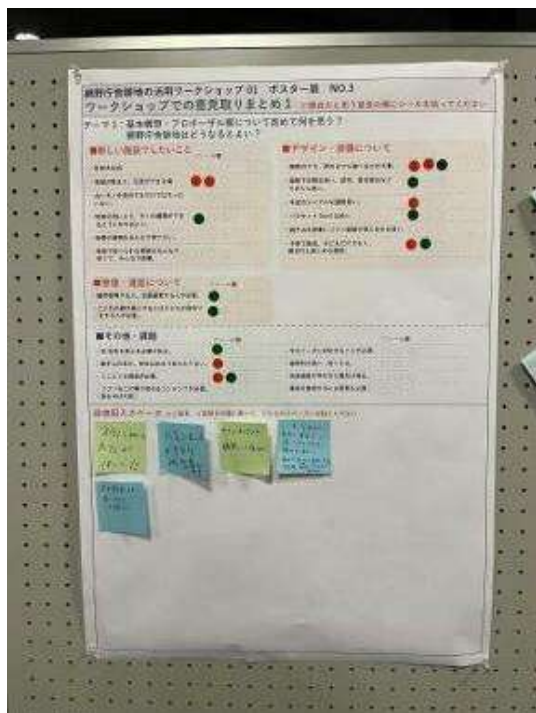
- ・バス交通の拠点。（車を運転できなくなる高齢者が増える）
- ・介護ククシー、移動サービス、福祉拠点が欲しい。
- 収益で行政補助
- ・雨風が除けられる大屋根は良い。愛称として「コフーン」
- 大屋根でなくても、建物の庇で十分では
- ・木工教室のイメージがわからない。
- ・「峰山にあるから、網野にはいらない」では網野に何もなくなってしまう。施設は必要
- ・一気に大きな施設整備ではなく、徐々に時代や意見に合わせた施設整備
- ・20年後の人口考えた計画
- ・周辺にない必要なものを作るべき
- ・学校・統廃合になった教室等を利用した方が良い。
- ・無理にお金は使わない方が良い。
- ・役場が業者に丸投げするような設備は必要ない

3. 「ら・ぽーと」におけるポスター展その1

1) 網野庁舎跡地活用のポスター展の開催概要

第1回ポスター展は、ら・ぽーと（1階エントランスホール）を活用して、第1回ワークショップの資料や参加者の意見をまとめて提示し、ら・ぽーとの利用者から意見をいただきました。

2) ポスター展における主な意見



特に「賛成」が多かった意見

[賛成数]

2つ：地域の集まり、交流ができる場

- ：ここに来る理由が必要
- ：子どもも親も楽しめる施設
- ：屋根付きの広場（遊び場）
- ：子ども、学生が集まる理由が必要
- ：周辺施設との連携
- ：貸しスペース
- ：網野のイベントを行える場所

3つ：朝市、夜市の開催

3つ以上：カフェ、飲食店

意見のとりまとめ

□遊び・交流

- ・犬が散歩してもいいようにして欲しい
- ・小中高生が自由に集まったり過ごしたりできる場所
屋内で遊べ屋外にも広場が欲しい（学習室や談話スペース）
- ・高齢者が寂しいおうち時間をなくし、ふらっと寄って長時間
おしゃべりできる集いの場ができると良い（レンタル農園など）
- ・雨の日でも子どもたちが遊べたり一緒に宿題するスペース

□収益性

- ・アミティ丹後食品加工支援センターがあるのでこの辺りに
食の街をPRしてはどうか、集客が見込めると思う
- ・スタバみたいなカフェが欲しい
- ・イオンモールが来たらみんな喜びます
- ・セブンイレブンを誘致して欲しい

4. 第2回ワークショップ

1) 第2回ワークショップの開催概要

第2回ワークショップは、令和5年12月17日にアミティ丹後2階講座室A・Bにおいて16人の市民が参加して、2つのテーマを基に、話し合いを実施しました。

2) 第2回ワークショップの主な意見

□子育て・遊び

- ・子どものサードプレイス、放課後遊べる場所
- ・子どもが遊べ、母親同士が交流できる場所
- ・いつも綺麗な芝生や砂場
- ・創造的な活動がある

□貸室、コミュニティセンター機能

- ・アミティより安く貸室利用がしたい
- ・網野に文化活動ができる場所がない、したい
(ダンス、音楽、合唱、太極拳、油絵など)
- ・フリースクール、文化講習ができる教室、スタジオ
- ・少しの待合い場所、集いの場

□地域拠点、観光拠点

- ・網野の魅力、歴史文化を発信する場所がない
- ・地域外から来てもらうきっかけが必要
- ・レンタサイクル
- ・国際交流の拠点がほしい(峰山にはある)
- ・研修用宿泊施設
- ・観光拠点となる施設
- ・手織の工房で体験できると良い
- ・地域の人が集えるコインランドリーも良い

□飲食・購買

- ・カフェはいらない／カフェがあると嬉しい
- ・大屋根を設け屋台が常設であるとよい
- ・屋台や自販機程度でよい
- ・カニや魚の販売

□周辺施設との連携

- ・周辺に既にある施設と同じようなものは良くない
- ・スポーツ関連は体育館に集約できる
- ・バーや灯籠屋が立地し最近の面白い動きを活かす
- ・新しい網野らしさの発掘
- ・ショップはアミティにある
- ・旧幼稚園の活用として託児所や宅老所
- ・網野神社の児童遊園地、愛宕山を利用
- ・周辺施設(幼稚園、神社、体育館、温泉など)
ないものがあるとよい

□新しい施設でしたい・欲しい

- ・大きい屋根(日除け・雨よけ)
- ・網野は風が強いので防風となる建物
- ・「にぎわい」の意味で電気の灯った施設
- ・芝生広場はあったら良い
- ・美術館のようなものはいらない
- ・サウナは市内の温泉を利用すればよい
- ・サーフィンやSUP向けの施設はいらない

■管理運営

- ・民間が運営した方がよい
- ・役所が設置となるのか、民間の可能性は低い
- ・利用者以外で関わるとしたら収益性が大切
- ・周辺施設にホールを追加、新しい施設には不要

■その他

- ・バス交通拠点(運転できない高齢者が増える)
- ・介護タクシー、移動サービス、福祉拠点
→収益で行政補助
- ・雨よけできる大屋根、愛称として「コフーン」
- ・木工教室のイメージが湧かない
- ・「峰山にあるから網野にはいない」では
網野に何もなくなってしまう
- ・20年後の人口を考えた計画
- ・統廃合になった学校の教室など利用できる
- ・無理にお金を使う必要はない
- ・役場が業者に丸投げするような施設は不要
- ・時代に合わせた施設整備
必要なものを少しずつ整備できるとよい

■その他ご意見

- ・テニスコートが壊れているのでつくってほしい
- ・良くなる想像がつかない(古墳…誰もみない、芝生…手入れが行き届かない、カフェ…高いのでは、ガーデン…犬のフンだらけになる)
- ・体育館ではできない屋内スポーツ施設(屋内テニス、屋内ハーフパイプ、屋内スケボー、屋内サーフィンなど)
があると全国から客が来る

6. 地域ニーズの整理

ニーズを把握するため、ワークショップやポスター展を実施して、様々な意見を頂きましたが、ワークショップでの話し合いのテーマをまとめると下記の通りとなり、このテーマに対する皆様の意見を基に、ニーズの整理を行います。

□テーマによるニーズ整理

テーマ	ニーズ
どんな人に網野に来て欲しい？	● 網野の地域住民が第一、子どもや学生が集まれる場所にしていく ● 地域外の人も立ち寄れる場所にしていく
網野にはどんな個性やポテンシャルがある？	● 銚子山古墳が地域の歴史遺産となっており、一体的に活かしていく ● 豊かな海や様々な地域資源、地域の活動があるため、これらを活かしていく
ポテンシャルをどう活かすと、網野地域が活性化するか？	● 地域の伝統産業や新たな工房などの技術と職人の集積を活かしていく ● 周辺施設との連携や人的な資源のネットワーク化などを行い、地域全体で活性化を図っていく
持続的に施設が活用されるためには、どんなコンテンツが必要？	● バス交通拠点機能を確保し、移動円滑化を図っていく ● 季節を問わず、子どもや学生が集まれ、地域外からも人が来れる遊戯・運動機能の導入を図っていく ● 地域や地域外の人々が文化活動を行なえ、コミュニケーションが促進される機能の導入を図っていく
どうやって長く関わっていききたい？	● 施設運営は、民間事業者の導入 ● 施設の維持管理やイベントなどへの積極的な参加



《ニーズとして最も重要な事項》

子ども、学生、高齢者など地域の人が集まり、活用できる施設を目指す

《施設の持続性で重要な事項》

施設運営費用に関する意見が多く、**持続的な運営を確保**するため周辺地域や地域外からの**集客を図り賑わいが創出できる施設**を目指す

❖ 基本構想の5つの基本方針



❖ 地域内外の集客を図り賑わいを創出する場

第3章 施設コンセプト及び 施設機能の検討

第3章 施設コンセプト及び施設機能の検討

1. 施設コンセプトの検討

①跡地活用の基本理念

人口減少、核家族化が進み世代間や地域間のつながりの希薄化や、進学や就職により転出した若年層が帰ってこない状況を踏まえ、幼少期からの「ひと」とのつながりや関わりを大切にして郷土愛を育み、故郷に帰る原動力につなげていく場所、市内外の「まち」をつなげて交流人口・関係人口の増加を目指していく場所、網野銚子山古墳に代表される「歴史」文化等の地域資源とのつながりを発信していく場所として、跡地活用の基本理念を次のとおり定めます。

「ひと」と「まち」と「歴史」がつながり
“いきいき”“わくわく” まちの未来を育む交流拠点

②施設整備の基本方針

跡地利用の基本理念を具体化するとともに、持続可能な施設運営を図るため、基本構想で定めた基本方針に、新たな内容も加えた施設整備の基本方針を次のとおり定めます。

《基本方針》

- ❖ まちの協働・共創と学び合いの場
- ❖ 多世代交流(子どもからおじいちゃん・おばあちゃん)の場
- ❖ 子育て親子の交流と遊びの場
- ❖ 若者が未来へのチャレンジする場
- ❖ まちの歴史と魅力を発信する場



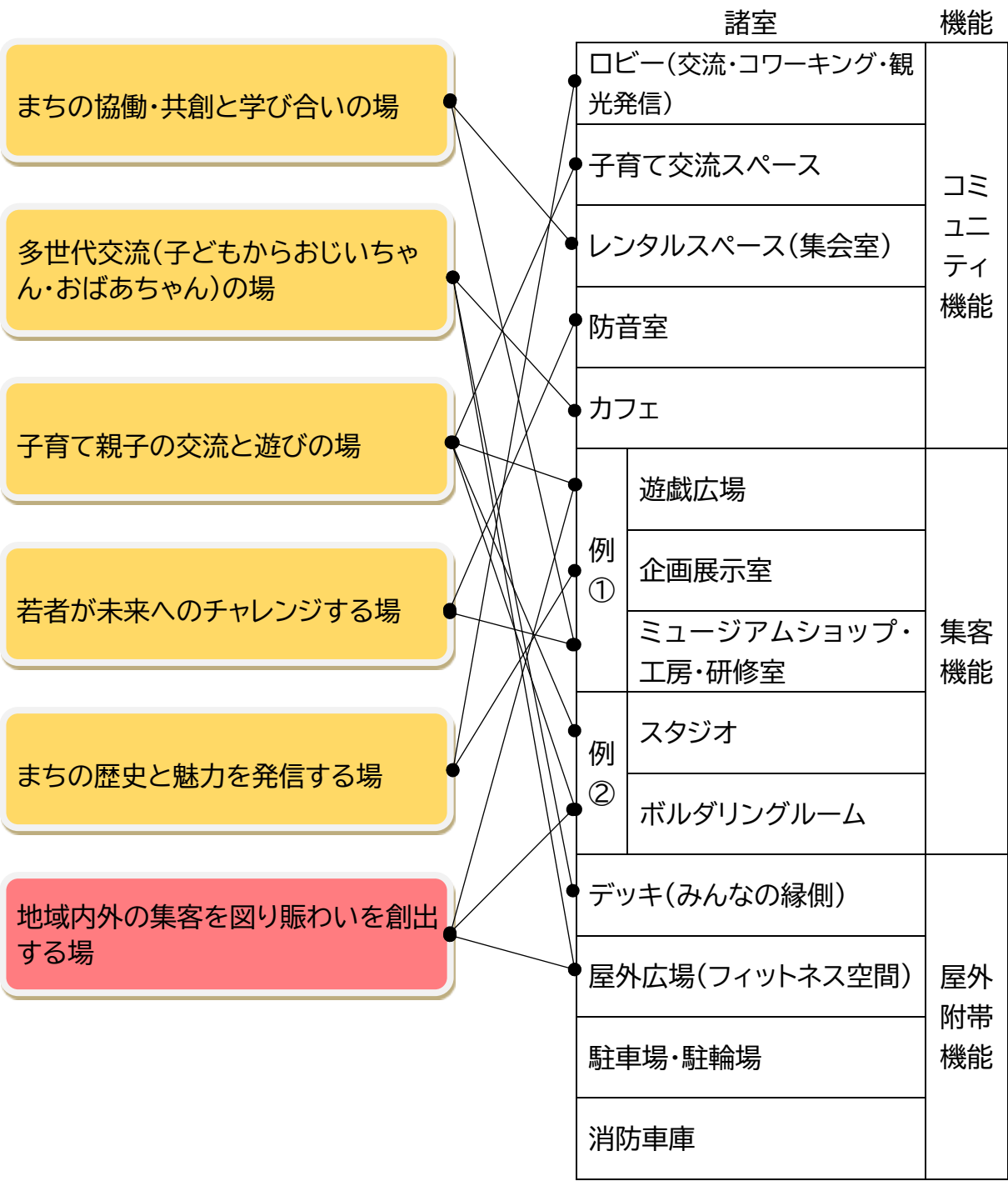
- ❖ 地域内外の集客を図り賑わいを創出する場

2. 施設機能の検討

1) 施設機能の導入検討

市民意見を踏まえ、基本方針を実現していくため、施設に導入する機能を下記に整理します。

□基本方針と導入機能及び諸室との関係

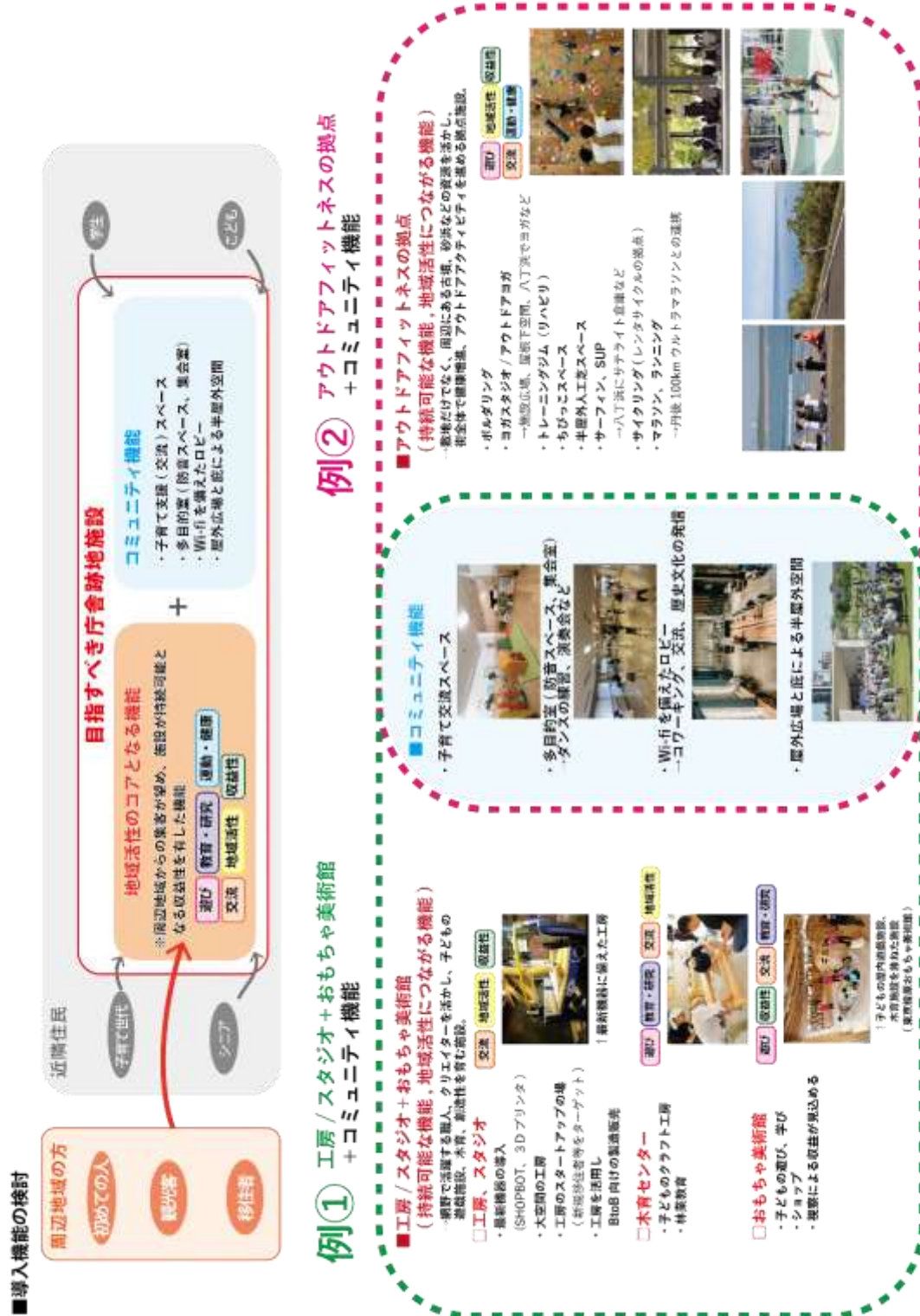


□諸室の機能概要

機能	諸室		諸室概要
コミュニティ 機能	ロビー（交流、コワーキング、観光発信）		ロビーは施設入口の機能に加え、誰でも気軽に立ち寄れるオープンなスペース。Wi-Fi を備え、自由利用が可能な交流拠点。壁面などを利用して観光案内のコーナーを配置
	子育て交流スペース		子育て世代が集い、交流・コミュニケーションができる部屋を配置
	レンタルスペース（集会室）		可動間仕切壁により分割が可能で、集会、ダンスや音楽会など多目的な利用ができる部屋を配置
	防音室		音楽を演奏したり、音を出すような活動を個人やグループでできる防音された部屋を配置
	カフェ		地域住民が憩い、集える場所としてカフェスペースを設置
集客機能	例①	遊戯広場	木工おもちゃなど木育ができ、子どもが屋内で遊戯・運動ができる空間を配置
		企画展示室	伝統工芸や地域資源に関することをテーマにして、国内外も含めた文化、芸術、木工などの展示を行う空間を配置
		ミュージアムショップ	木工おもちゃ、地域の玩具や伝統工芸品など地域風土に根差した物品の販売を行う場所を配置
		工房	子どもや大人も、DIY や伝統工芸などを楽しめるように工作機械を利用できる部屋を配置
		研修室	事業者が講義や団体受入れなど、多目的に利用する部屋
	例②	スタジオ	ダンス、エクササイズなど運動もでき、運動を通じた交流や繋がりを図る部屋として配置
		ボルダリングルーム	子どもから大人まで一緒になって楽しめ、体幹の向上や登りきる達成感が経験できる場所を配置
		屋外広場（フィットネス空間）	屋外において、木陰の空間を構成することで、屋内では体験できない開放感のある運動を行える場を配置

機能	諸室	諸室概要
屋外附帯機能	デッキ(みんなの縁側)	広場に面して、縁側のようなデッキを配置し、普段はみんなの憩いの場となり、イベント時はステージなど多様な利用ができるように配置
	駐車場・駐輪場	駐車場は、バス路線の停留所としても機能するように配置することで、交通結節点の機能を担う また、駐車場、駐輪場は、隣接する公共施設との一体的な利用を想定して配置

2)集客機能の検討



おもちゃ美術館

おもちゃ美術館は、郷土の自然や文化と遊びが融合した交流型ミュージアムです

■おもちゃ美術館のコンセプト



家族真ん中の
多世代交流

家族を中心とした
いろいろな世代が交流しにぎわう施設



森林文化の継承と
木育推進

日本の伝統技法、地域材の活用、
木育の普及・推進施設

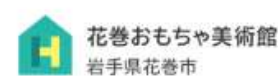


市民性創造と
地域コミュニティの形成

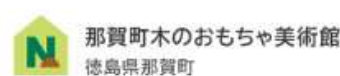
地域が主役となり、
地域のヒトが活躍する機会をつくる施設。

■おもちゃ美術館の広がり

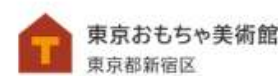
2023年には12館に到達、地域ならではの魅力あふれるミュージアムです



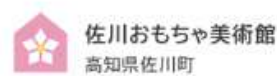
花巻おもちゃ美術館
岩手県花巻市



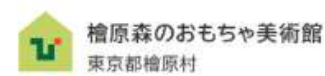
那賀町木のおもちゃ美術館
徳島県那賀町



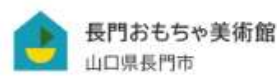
東京おもちゃ美術館
東京都新宿区



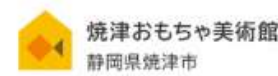
佐川おもちゃ美術館
高知県佐川町



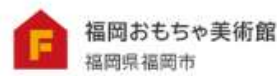
檜原森のおもちゃ美術館
東京都檜原村



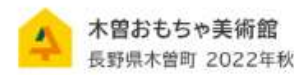
長門おもちゃ美術館
山口県長門市



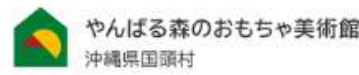
焼津おもちゃ美術館
静岡県焼津市



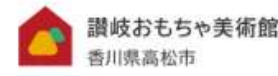
福岡おもちゃ美術館
福岡県福岡市



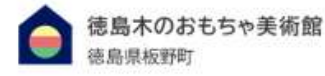
木曽おもちゃ美術館
長野県木曽町 2022年秋



やんばる森のおもちゃ美術館
沖縄県国頭村



讃岐おもちゃ美術館
香川県高松市



徳島木のおもちゃ美術館
徳島県板野町

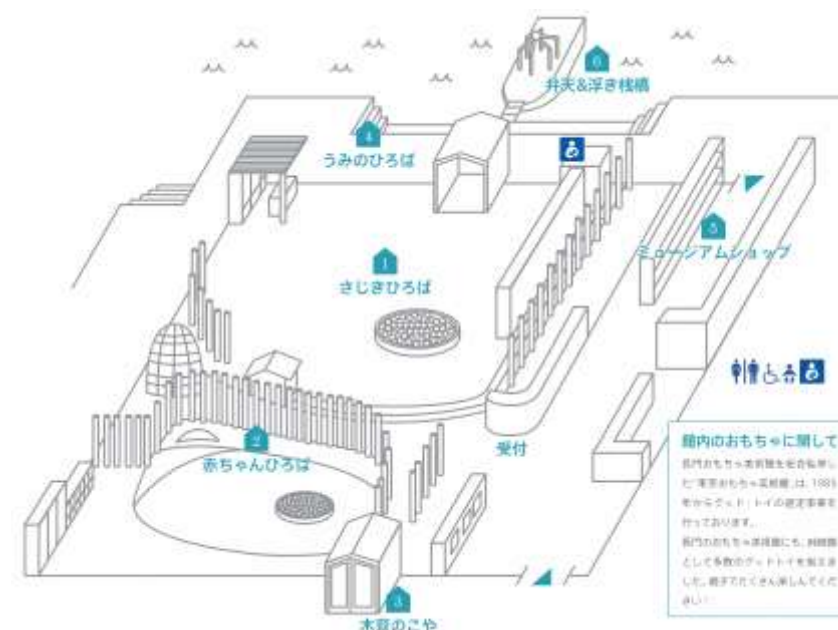


長門おもちゃ美術館

山口県長門市

新たに作られた道の駅のなかに開館した「長門おもちゃ美術館」。シイノキをはじめとする長門市の木をふんだんに活用した、木のぬくもりあふれる空間です。また、キッズクルーズ船を有しており、専用の浮き桟橋から入館者だけが楽しめるミニクルーズで長門の海の美しさを間近で体感することができます。森と海と人をつなぐ、木育拠点を目指しています。

所在地	山口県長門市仙崎 4297-1 センザキッチン	運営	長門市／NPO 法人 人と木
利用者数	26,000 人/年（市内 15%、市外 85%）	開館	2018 年 4 月



アウトドアフィットネス(ビーチタウン)

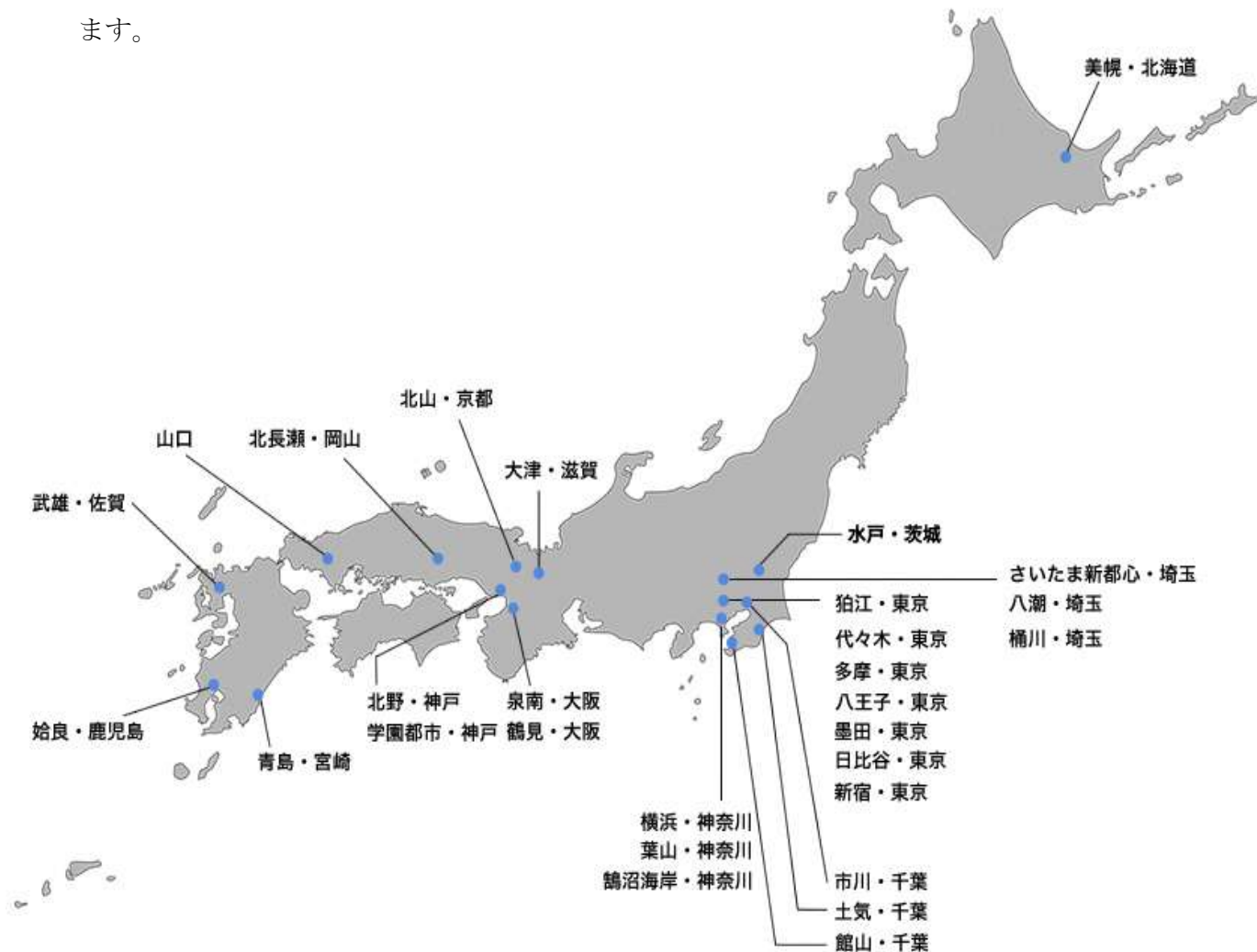
「アウトドアフィットネス」とは、海や山、企業の遊休地、まちの公園などをフィールドにして、スポーツを楽しみながら健康的なライフスタイルを創造するという新しい考え方で、遊びながら、気付いたら健康にというのがコンセプトの施設です。

■アウトドアフィットネスのコンセプト

「アウトドアスポーツを日常に。人生を『遊び続ける』きっかけの場所。美しい自然の中で楽しく『続けること』。遊びながら、気づいたら健康に」

■アウトドアフィットネスを代表する企業 ビーチタウンの広がり

東京を中心とした関東圏域、大阪を中心とした関西圏域、中国、九州へと施設の立地が広がっています。



OND STUDIO

「OND STUDIO」は、佐賀県武雄市の貴重な生態系が息づく約 100 ヘクタールの広大な武雄温泉保養村に誕生する「OND PARK」内にオープン。森に囲まれたヨガスタジオ&ボルダリングジム・大自然の中で行うアウトドアフィットネスなど健康的なサービスを展開します。癒しを通じて「心と身体を、交流を通じて「人との関係」を、運動を通じて「地域のあり方」を整えます。

所在地	武雄市武雄町大字永島 18202 番地 1 OND PARK 内
運営	朝日 I&R リトリート株式会社



第2弾 OND CAFE



3. 施設規模の検討

施設機能の導入検討を踏まえて、設定された諸室について、その役割に応じた施設ボリュームを想定します。

機能	諸室		想定規模
コミュニティ機能	ロビー(交流、コワーキング、観光発信)		150~200 m ² ロビーだけでなく、多機能なオープンスペースの位置づけ
	子育て交流スペース		50~60 m ² 子育て世代が子どもと親が集える場所
	レンタルスペース(集会室)		120~180 m ² 可動間仕切壁により分割が可能で、運動もできる空間
	防音室		20~40 m ² 個人での練習やグループでの練習ができる防音の空間
	カフェ		60~80 m ² 地域住民憩い、集える空間
集客機能	例①	遊戯広場	300~500 m ² 屋内で遊戯・運動ができる空間とし、運営事業者が規模を決定
		企画展示室	
		ミュージアムショップ	
		工房	80~120 m ² 工作機械を利用でき、様々な体験ができる空間
		研修室	50~70 m ² 事業者が講義や団体受入れなど、多目的に利用できる空間
	例②	スタジオ	300~400 m ² 屋内での運動、地域フィールドへのアクセス拠点として、運営事業者が規模を決定
		ボルダリングルーム	
屋外附帯機能	駐車場		37 台程度 ら・ぽーとの駐車場との一体的な利用を想定し 37 台程度を確保

4. 環境・防災対策の検討

1) 環境に配慮した施設計画

① 構造や内装における環境配慮

京都府では、木材を利用し、森林資源を「循環」させることは、森林の適正な整備につながり、森林の多面的機能の持続的な発揮や地域経済の活性化に貢献することから、公共建築物等における京都府産木材の率先利用と民間建築物への波及効果を一層促進していくため、「公共建築物等における京都府産木材の利用促進に関する基本方針」を改正し、「京都府産木材の利用の促進に関する基本方針」を策定しております。

京都府産木材利用の取組として、公共施設の木造化木質化、公共土木工事での土木資材としての利用を進めております。

本施設においても、京都府の環境に貢献するため、主要構造部を木造化することや、主要構造部を鉄骨構造にした場合は、内装の木質化を図るなど環境に配慮した施設計画を検討します。

□ 公共施設の木造化（京都府立茶業研究所）



□ 公共施設の内装の木質化



2)防災性を高める施設計画

①浸水対策

災害リスクとしては、計画敷地が浸水想定区域となっており、その浸水深さは約 1.2m となっているため、敷地に起伏をつけることで、施設の地盤レベルを 50 cm 程度嵩上げするとともに、施設計画においても出入口部に止水板を設置するなど浸水対策を講じます。

□施設の浸水対策

●盛土による地盤レベルの嵩上げ



●施設の出入口の止水板



②耐震性対策

地盤は、8 m 程度までが砂、それ以降はシルト層となっており、4 ～ 8 m まではN値が 10 を超えて 15 程度となっています。

表層の 0 ～ 2.7 m は、N 値が 1 ～ 3 で軟弱地盤であるため、安全性を高めるため、2 m 程度まで表層改良工法による地盤改良を行うことで地耐力を確保します。

表層改良工法は、深さ 2 m ほど土を掘りながら固化材を入れて、土と強固材を混ぜ合わせることで地盤を強固にする対策方法です。

第4章 整備イメージ

第4章 整備イメージ

1. 計画敷地の施設配置検討

計画敷地における施設配置については、道路からのアクセス性、道路からの視認性、隣接する「ら・ぽーと」や「アミティ丹後」との横断歩道などに伴う連絡性などの外部要因と、施設の配置に伴う広場の利用環境、自然環境への配慮としての西日の遮断や防風、建物の増築などを将来に向けた可変性などを考慮して施設配置検討を行います。

また、官民連携を前提とした施設であるため、施設全体を一括で民間に運営を委ねる一体運営の場合と、公共施設と民間施設が一体的な利用を行いながらも、敷地設定や建築としては分割して管理することも想定されるため、施設配置計画の検討においては、一体運営タイプと分割管理タイプの2つを想定して検討を行います。

1) 一体運営タイプの施設配置パターン

一体運営タイプは、A～Dまでの4つの配置案を想定しているが、それらについて、7つの評価項目を設定して比較検討を行いました。

比較検討の結果、駐車場へのアクセス性、敷地広場の利用・環境、西日の遮断、施設建物の可変性などの観点で評価の非常に高いA案で施設計画を検討していきます。

□ 一体運営タイプの比較検討表

案	A	B
配置プラン		
駐車場へのアクセス	◎：入り口と出口が別にある。	△：入り口と出口が同じ箇所である。
周辺施設からのアクセス	○：広場へアクセスしやすい。	○：施設へアクセスしやすい。
前面道路からの見え	○：広場の活動がよく見える。道路に対し建物の圧迫感がない。	○：民間事業者の活動が見えにくい。広場の活動は見える。
敷地広場の利用・環境	◎：広場が一体的に大きく面積確保できている。	○：広場の面積が確保できている。
西日の遮断	◎：建物により西日が遮られる。建物の裏側に西日が当たる。	◎：建物により西日が遮られる。建物の裏側に西日が当たる。
防風（北北西の風）	△：建物では北北西の風は遮れない。（植栽で対応可能性あり）	△：建物では北北西の風は遮れない。
施設建物の可変性	◎：民間事業者の面積が内容により、可変である。	○：民間事業者の面積が内容により、多少変更できる。
その他	◎：広場から銚子山古墳への眺望が確保されている。	

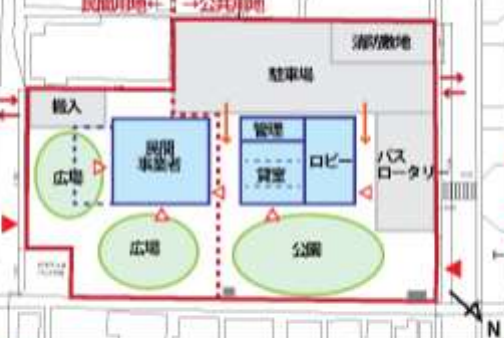
案	C	D
配置プラン		
駐車場へのアクセス	△ 入り口と出口が同じ箇所である。	◎ 入り口と出口が同じ箇所である。
周辺施設からのアクセス	△ 施設へアクセスしやすいが、広場へのアクセスが悪い。	○ 施設と広場へアクセスしやすい。
前面道路からの見え	△ 広場と民間事業者の活動が見えにくい。	○ 広場とのロビー・民間事業者の活動が見えやすい。
敷地広場の利用・環境	◎ 広場の面積が一体的に確保できている。	○ 多方向に広場ができるが、一体的な面積確保は難しい。
西日の遮断	○ 建物により西日が遮られる。	○ 建物により西日が遮られる。
防風（北北西の風）	◎ 建物により北北西の風を遮ることが可能。	△ 建物では北北西の風は遮れない。
施設建物の可変性	◎ 民間事業者の面積が内容により、可変ある。	△ 民間事業者の面積が内容により、変更できない。
その他	建物から銚子山古墳への眺望が確保されている。	建物から銚子山古墳への眺望が確保されている。

2) 分割管理タイプの施設配置パターン

分割管理タイプは、E～G までの3つの配置案を想定しているが、それらについて、7つの評価項目を設定して比較検討を行いました。

比較検討の結果、前面道路からの視認性の評価が非常に高く、駐車場へのアクセス性、周辺施設からのアクセス性、西日の遮断などの観点で評価の高い G 案で施設計画を検討していきます。

□ 分割管理タイプの比較検討表

案	E	F
配置プラン		
駐車場へのアクセス	△ 入り口と出口が同じ箇所である。	△ 入り口と出口が同じ箇所である。
周辺施設からのアクセス	○ 施設へアクセスしやすい。	○ 施設へアクセスしやすい。
前面道路からの見え	△ 民間事業者施設が見えにくい。	△ 民間事業者施設が見えにくい。
敷地広場の利用・環境	○ 広場の面積が確保できている。	○ 広場の面積が確保できている。
西日の遮断	◎ 建物により西日が遮られる。建物の裏側に西日が当たる。	△ 建物により西日が遮られない。
防風（北北西の風）	△ 建物では北北西の風は遮れない。	△ 建物では北北西の風は遮れない。
施設建物の可変性	○ 民間事業者の面積が内容により、多少変更できる。	○ 民間事業者の面積が内容により、多少変更できる。
その他		

案	G	
配置プラン		
駐車場へのアクセス	○	入り口と出口が同じ箇所である。
周辺施設からのアクセス	○	施設へアクセスしやすい。
全面道路からの見え	◎	民間事業者の施設の広場の活動がよく見える。
敷地広場の利用・環境	△	広場の面積が小さい。
西日の遮断	○	建物により西日が遮られる。
防風（北北西の風）	△	建物では北北西の風は遮れない。
施設建物の可変性	△	民間事業者の面積が内容により、変更できない。
その他		

2. ユニバーサルデザインの検討

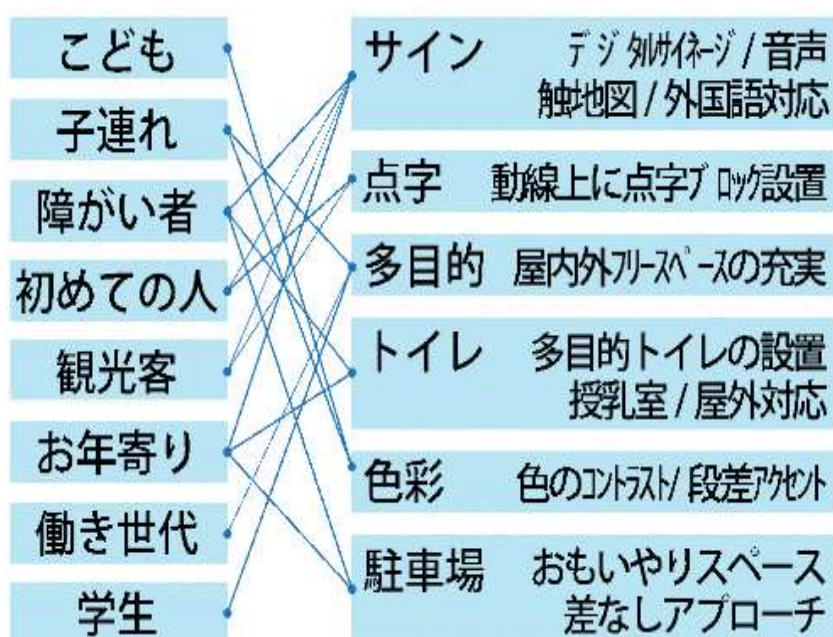
1) 京都府の指針を反映した施設計画

京都府では、バリアフリーの取組をさらに進め、ユニバーサルデザインの考え方を基本とする社会の実現を目指すため、一人ひとりを大切にする、優しくあたたかい心で支え合う「あったか京都」を府民の皆さんと参画と協働で実現するための設計図として、「みんなでつくる『あったか京都』指針（京都府ユニバーサルデザイン推進指針）」を策定しており、これに基づいた施設計画を進めていくものとします。

2) 思いやりのあるユニバーサルデザイン

本計画は、地域住民や来訪者など様々な利用者が想定されるため、年齢層も子どもから高齢者まで多様であるため、多世代利用を想定し、視覚、触覚、聴覚など五感を通じて、情報提供を行うなど、誰もが利用しやすい思いやりのある施設計画を行います。

具体的な整備においては、弱視者に対応した色彩計画、ピクトグラムの適切な配置、点字ブロックなど細やかな配慮を検討します。



3. 施設整備計画及びイメージ図

本計画地の施設計画は、「施設コンセプトの検討」において持続可能な施設整備に向けて基本方針に「地域内外の集客を図り賑わいを創出する場」を加えたことから、コミュニティ機能に加えて、「工房・スタジオ+おもちゃ美術館」や「アウトドアフィットネス拠点」を官民連携型 A 案とし、民間活力の導入例別に例①、例②で例示しています。

また、敷地を分割して個々に施設整備を行い、一体的な利用を行う官民敷地分割管理型を B 案としています。

□施設計画の分類

分類	計画名	導入機能
官民連携型 A 案	例①	コミュニティ機能+「工房・スタジオ+おもちゃ美術館」
	例②	コミュニティ機能+「アウトドアフィットネス拠点」
官民敷地分割管理型 B 案	—	東側敷地：コミュニティ機能 西側敷地：健康増進カフェ

□施設整備のイメージ〔官民連携型 A 案（例①）イメージ〕



■例① 工房 / スタジオ + おもちゃ美術館 + コミュニティ機能 (延面積 1421.5 m²)

- ・施設北側に大きな広場を配置。デッキを介して、施設と広場の繋がりを作る。
- ・レンタルスペースは広場に向かって大きく開き、広場を観客席にしたステージとしても活用可能。



■例① 工房 / スタジオ + おもちゃ美術館 + コミュニティ機能 事例イメージ

工房 / スタジオ + おもちゃ美術館



最新技術が使える木工スタジオ
事例：仙台「DIY STUDIO」



地域交流を促す体験木育スタジオ
事例：「東京おもちゃ美術館」



木工おもちゃをめぐるした展示室
事例：「木曾おもちゃ美術館」



木工おもちゃに触れる遊戯広場
事例：「佐川おもちゃ美術館」

コミュニティ機能



子育て交流スペース
事例：渋谷の子育て拠点施設「co しぶや」



レンタルスペース（間仕切り可能）
事例：「泉大津シーバスパーク」多目的室



ロビー・フリースペース
事例：「石蔵コワーキングロビー NESTo」



建物を舞台となる芝生広場
事例：「泉大津シーバスパーク」

■例② アウトドアフィットネス拠点+コミュニティ機能(延面積 882 m²)

- ・例①より、事業者スペースを縮小。事業者が使用する屋外広場を設ける。
- ・例①と同様に施設北側に大きな広場を配置。デッキを介して、施設と広場の繋がりを作る。
- ・レンタルスペースは広場に向かって大きく開き、広場を観客席にしたステージとしても活用可能。



□面積表

〔仮称〕網野交流センター(延882㎡)			
NO.	室名	室概要	㎡
1	Wi-Fi設備を備えたロビー	交流、コワーキング、観光発信	192㎡
2	子育て交流スペース	子育て世代の交流 コミュニケーション	54㎡
3	カフェ		78㎡
4	レンタルスペース(集会室)	可動間仕切り、音楽、ダンス、多様な活動	120㎡
5	防音室	音楽演奏(レンタルスペース)	36㎡
6	アウトドアフィットネス		306㎡
	スタジオ		(120㎡)
	シャワールーム (参考:シーバスパーク シャワー4)		(48㎡)
	ボルダリングスタジオ		(45㎡)
	事務室/倉庫		(36㎡)
7	管理事務室		36㎡
8	トイレ		27㎡
9	廊下・倉庫・その他		33㎡

■例② アウトドアフィットネス拠点+コミュニティ機能 事例イメージ

アウトドアフィットネス



食・運動・休養を実践できるカフェ
事例：新潟「タニタカフェ」



室内で利用出来るボルタリング
事例：キュープラザ二子玉川



朝日を浴びながらデッキでヨガ
事例：仙台「青葉の風テラス」



木陰で運動できる広場
事例：四日市「FITNESS CAMP」

コミュニティ機能



子育て交流スペース
事例：渋谷 子育て拠点施設「co しぶや」



レンタルスペース（間仕切り可能）
事例：大阪「泉大津シーバスパーク」多目的室



ロビー・フリースペース
事例：「石蔵コワーキングロビー NESTo」



建物を舞台となる芝生広場
事例：大阪「泉大津シーバスパーク」

■B 案 官民分割敷地を想定した健康増進カフェ＋コミュニティ機能（延面積 公 695 m²＋民 300 m²）

- ・それぞれの敷地に駐車場が設定できるよう、東側に通り抜けできる駐車場を配置し、南北に敷地を分割。
- ・民間事業者が占用できる小さめの広場を設定し、各建物が広場を囲うように配置。
- ・レンタルスペースは広場に向かって大きく開き、広場を観客席にしたステージとしても活用可能。



□面積表

(仮称)網野交流センター(695㎡)			
NO.	室名	室概要	㎡
1	Wi-Fi設備を備えたロビー	交流、コワーキング、観光発信	192㎡
2	子育て交流スペース	子育て世代の交流 コミュニケーション	54㎡
3	カフェ		78㎡
4	レンタルスペース(集会室)	可動間仕切り、音楽、ダンス、多様な活動	175㎡
5	防音室	音楽演奏(レンタルスペース)	36㎡
8	アウトドアフィットネス		406㎡
9	管理事務室		36㎡
10	トイレ		
11	庫下		

民間事業者：PFI 健康増進カフェ(延300㎡)			
1	カフェ		300㎡
	カフェホール		(175㎡)
	キッチン		(60㎡)
	シャワーロッカー		(45㎡)
	事務室/倉庫		(20㎡)
	トイレ		

■B 案 官民分割敷地を想定した健康増進カフェ＋コミュニティ機能 事例イメージ

健康増進カフェ



貸室併設する PFI の公園カフェ
事例：東遊園地「WEEKEND」



食・運動・休養を実践できるカフェ
事例：新潟県「タニタカフェ」



PFI 占用芝生広場と公共芝生広場
事例：東遊園地



屋外健康器具のある運動広場
事例：健都レールサイド公園

コミュニティ機能



子育て交流スペース
事例：渋谷の子育て拠点施設「co しぶや」



レンタルスペース（間仕切り可能）
事例：「泉大津シーバスパーク」多目的室



ロビー・フリースペース
事例：「石蔵コワーキングロビー NESTo」



建物を舞台となる芝生広場
事例：「泉大津シーバスパーク」

第5章 概算事業費及び

事業スケジュール

第5章 概算事業費及び事業スケジュール

1. 概算施工費

概算工事費は、敷地内に整備予定の消防用車庫及び活動スペースの整備を含まず、施設整備及び外構整備を行うものとして算出しました。

工事費は施設面積に左右されているため、施設面積の大きいA案(例①)が最も高く、A案(例②)が低くなっています。ただし、B案は、官民が明確に分かれるため、公共部分だけでは最も低くなります。

概算工事費については、令和6年3月を基準として算出しておりますが、国土交通省が提供している建設工事費デフレーターでは、上昇傾向が継続している状況にあり、現状の傾向が継続していくとした場合は、実際の工事時期が令和9年4月とすると20%程度の工事費の上昇が見込まれます。

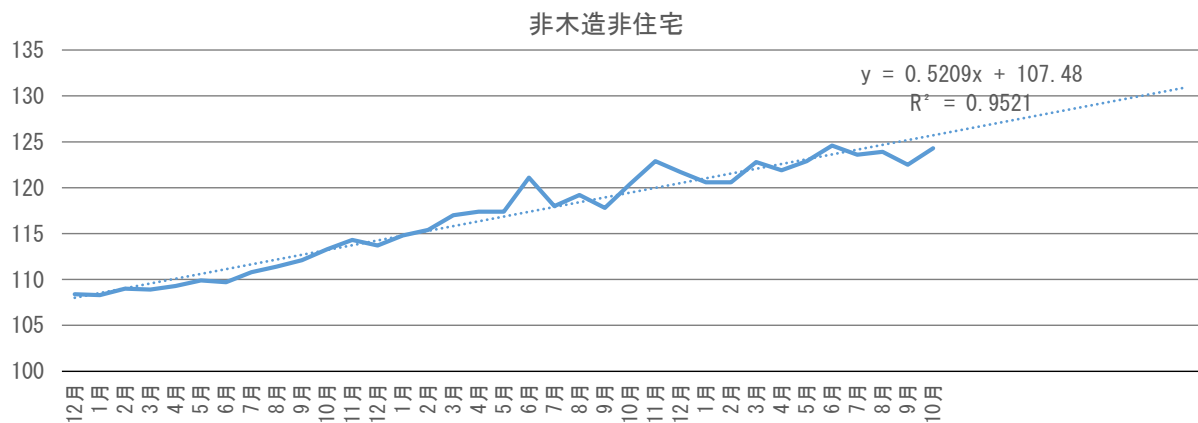
□概算工事費の比較

単位：千円

項目	単価	A 案		B 案
		例①	例②	
(1) 土木工事費		190,314	187,445	211,518
① 舗装工		44,791	38,510	39,341
	車道舗装：㎡単価 4.68	1237 ㎡	1237 ㎡	1986 ㎡
	歩道舗装：㎡単価 4.47	2509 ㎡	3333 ㎡	2368 ㎡
	客土：㎡単価 3.5	634 ㎡	560 ㎡	446 ㎡
	地盤改良：㎡単価 9.0	2842 ㎡	1764 ㎡	1990 ㎡
② 附属施設工		27,231	33,484	46,822
	側溝標準：m単価 8.2	145	145	258
	側溝切下：m単価 8.2	10	10	10
	集水桝：箇所 58.61	10	10	10
	植栽縁石：m単価 5.5	200	272	80
	ベンチ：箇所 233.0	10	10	10
	デッキ：㎡単価 70	241	194	467
	ゴムチップ：㎡単価 25	0	366	140
	サイン：箇所 277.0	3	3	3
	駐輪場：㎡単位 85	50	50	50
③ 植栽工		16,565	15,158	13,026

項目	単価	A 案		B 案
		例①	例②	
	高木：本 31.3	27	31	20
	低木：本 22.0	4	4	0
	グラス類：㎡単価 8.0	424	0	0
	芝生：㎡単価 10.0	1224	1410	1240
④ 照明施設工		6,570	6,570	6,570
	照明：基 505.4	10 基	10 基	10 基
⑤ 諸経費等	工事費の 100%	95,157	93,723	105,759
(2) 建築工事費		932,117	579,665	654,531
① 施設整備費	㎡単価 503	714,763 延床 1,421 ㎡	443,646 延床 882 ㎡	500,485 延床 995 ㎡
② 浸水対策費	m単価 250	2,250 9m	2,250 9m	3,000 12m
③ 諸経費	工事費の 30%	215,104	133,769	151,046
概算工事費(1)+(2)		1,122,431	767,110	866,049
				公：603,948
				民：262,101

□建設工事費デフレーター 非木造非住宅の推移



出典：建設工事費デフレーター

2. 事業スケジュール

事業スケジュールは、跡地に現存する庁舎の解体時期に影響を受けるが、現状においては、令和5年度に本計画（基本計画）を策定し、その後、民間活力の導入に向けたサウンディング調査などを経て、設計・工事を進めていくものとします。

なお、本計画に例示したイメージ図は一案であり、事業者からの提案や条件等を整理・検討し、具体的な設計を踏まえて決定していきます。

□事業スケジュール案



第6章 事業手法の検討

第6章 事業手法の検討

1. 事業手法の検討

1) 他事例の調査

(仮称) 網野交流センター・交流広場は、コミュニティ機能や集客機能等の多様な機能を複合した施設となることが想定されます。

こうした複合的な機能を併せ持った公共施設について、近年 20 年程度の他都市の類似施設の事例をみると、多様な公共サービスを一か所で提供する「複合」という施設の性格もあり、施設整備や幅広い分野のサービス提供などにおいて、民間事業者等のノウハウを活用しながら事業を進めている事例も見受けられます。

他都市事例においては、一般的な整備方式である公共による整備である「公設公営方式」・「指定管理方式」に加え、官民連携事業である「DBO方式」及び「PFI方式」も採用されています。

表 複合施設の整備・管理運営手法

施設名	自治体	竣工	延床面積	事業方法	管理運営主体	事業費等
我孫子市生涯学習センター	千葉県 我孫子市	2002年	約4,364㎡	公設公営	公共	約17億円
ひらたタウンセンター	山形県 酒田市	2002年	約5,090㎡	公設公共	公共	約19億円
村山市総合文化複合施設	山形県 村山市	2010年	約4,452㎡	指定管理	指定管理者	約24億円
武蔵野プレイス	東京都 武蔵野市	2011年	約9,810㎡	指定管理	公共 (指定管理)	約45億円
室蘭生涯学習センターきらん	北海道 室蘭市	2018年	約4,495㎡	PPP (DBO)	公共部分の 一部は直営	約20億円
オガールプラザ	岩手県 紫波町	2012年	約5,826㎡	PPP	民間	約11億円
岩見沢市生涯学習センター	北海道 岩見沢市	2013年	約7,700㎡	PFI (BTO)	民間	約31億円
いわき芸術文化交流会館	福島県 いわき市	2008年	約27,547㎡	PFI (BTO)	公共、 一部民間	約181億円
杉戸町生涯学習センター	埼玉県 杉戸町	2001年	約4,434㎡	PFI (BTO)	民間	約20億円
くわなメディアライヴ	三重県	2004年	約9,114㎡	PFI (BOT)	民間	約116億円

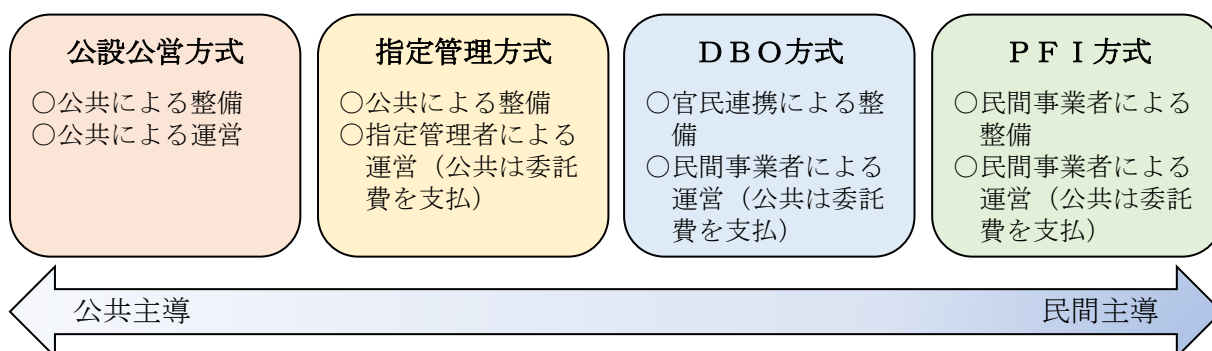
2) 事業手法

(仮称) 網野交流センター・交流広場の整備・管理運営においては、下表に示すように、①管理運営実施型事業では「公設公営方式」や「指定管理方式」等が、②施設整備・管理運営一体型事業では「DBO方式」、「PFI方式」、「民設民営方式」等の多種多様な民間活力を導入した事業手法が想定されます。

事業手法の検討においては、一般的な整備方式である公共による整備をベースとしながらも、他都市事例を踏まえ、複合公共施設の整備・管理運営に着目して、「公設公営方式」・「指定管理方式」に加え、官民連携事業である「DBO方式」及び「PFI方式」の4つの事業手法について検討を行いました。

表 検討対象とした事業手法

事業方式	概 要	資産保有		施設 整備	資金 調達	維持 管理	運営
		土地	建物				
①運営管理実施型事業							
公設公営方式 (民間委託を含む)	公共が直接業務を実施するか、 単年度又は複数年度で個別業務 毎に民間に業務委託する。	公共	公共	公共	公共	公共	公共
指定管理方式 (長期包括管理委 託等を含む)	施設整備は公共が発注するが、 運営管理を行う民間を募集し、 運営管理を行わせる。	公共	公共	公共	公共	民間	民間
②施設整備・運営管理一体型事業							
DBO方式	従来 of 公共整備手法の延長上 で、設計施工・運営管理を一括 発注する。	公共	公共	民間	公共	民間	民間
PFI方式							
BTO方式	民間が建設、完工後所有権を公 共へ移転、民間が運営管理を行 う。	公共	公共	民間	民間	民間	民間
BOT方式	民間が建設、運営管理し、契約終 了時に公共へ施設を譲渡する。	公共	民間	民間	民間	民間	民間
BOO方式	民間が建設・運営管理し、契約終 了時は施設撤去又は民間事業化 する。	公共	民間	民間	民間	民間	民間



3) 事業手法の比較

施設の整備・管理運営の事業手法として、「公設公営方式」・「指定管理方式」に加え、官民連携事業である「DBO方式」及び「PFI方式」の比較を以下に示します。

表 事業手法の比較

項目	公設公営方式	指定管理者方式	DBO方式	PFI方式
公共関与の度合	すべての段階で公共が主体となって実施するため、公共関与の度合は最も高い。	施設の整備段階で公共が主体となって実施するため、公共関与の度合は比較的高い。	施設の整備・維持管理・運営において、民間の関与が大きい。	施設の整備・維持管理・運営に加え、資金調達においても、民間の関与が大きい。
発注方式	分割発注 (仕様発注)	分割発注 (仕様発注)	一括発注 (性能発注)	一括発注 (性能発注)
役割				
設計	公共	公共	公共	民間
建設	公共	公共	公共	民間
資金調達	公共	公共	公共	公共及び民間
維持管理	公共	民間	民間	民間
運営	公共	民間	民間	民間
施設の所有	公共	公共	公共	公共又は民間
支払方法				
施設整備費	施設引渡時に清算	施設引渡時に清算	施設引渡時に清算	事業期間内で割賦払い
維持管理・運営費	毎年度清算	毎年度清算	事業期間内で割賦払い	事業期間内で割賦払い
契約形態	設計は委託契約で、建設は建設工事請負契約で行い、維持管理・運営を委託する場合、各業務を個別に単年度契約を締結する。	設計は委託契約で、建設は建設工事請負契約で行い、維持管理・運営は3～5年の協定を締結する。	設計・建設は建設工事請負契約で行い、維持管理・運営は長期の委託契約を締結する。	建設事業者や維持管理・運営事業者等が設立したSPCと施設の整備・維持管理・運営業務等を含む事業契約を締結する。
債務負担行為	不要	要	要	要
交付金	適用	適用	適用	適用
地方債	適用	適用	適用	適用
長 所	○公共関与の度合が最も高いため、責任の所在が明確である。 ○競争入札での事業者選定を行う場合、事業者選定に時間を要さない。	○公共関与の度合が最も高いため、責任の所在が明確である。	○民間金融機関の金利より、起債の金利の方が低金利であるため、財政支出が少ない。	○民間のノウハウや創意工夫を発揮できる余地を持たせることでコスト削減が期待できる。
短 所	○民間ノウハウの活用が期待されないため、コスト削減は期待できない。	○施設の整備段階で民間ノウハウの活用が期待されないため、コスト削減の余地は少ない。	○総合評価での事業者選定となるため、事業者選定に時間を要する。	○総合評価での事業者選定となるため、事業者選定に時間を要する。 ○起債の金利より、民間金融機関の金利の方が高いため、財政支出が多くなる。

4) 事業手法の検討

施設の整備・管理運営の事業手法及びその組み合わせの評価を以下に示します。

表 事業手法の評価

	事業手法	評価
一体型	指定管理方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○公共が施設全体を整備することとなるため、施設のコンセプト等を統一することが可能である。 <短所> ○施設の整備段階で民間のノウハウや創意工夫の活用が期待されないため、コスト削減の余地は少ない。 ○公共に誘客機能施設の運営ノウハウはないため、誘客機能施設関連の民間事業者の関与が不可欠である。
	DBO方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○施設全体の整備・運営において、民間のノウハウや創意工夫を活用することが可能である。 <短所> ○総合評価での事業者選定となるため、事業者選定に時間を要する。 ○公共に誘客機能施設の運営ノウハウはないため、誘客機能施設関連の民間事業者の関与が不可欠である。
	PFI方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○施設全体の整備・運営において、民間のノウハウや創意工夫を活用することが可能である。 ○民間が施設全体を整備することとなるため、施設のコンセプト等を統一することが可能である。 <短所> ○起債の金利より、民間金融機関の金利の方が高いため、財政支出が多くなる。
分離型	指定管理方式 指定管理方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○公共が施設全体を整備することとなるため、施設のコンセプト等を統一することが可能である。 <短所> ○施設の整備段階で民間ノウハウの活用が期待されないため、コスト削減の余地は少ない。 ○公共に誘客機能施設の運営ノウハウはないため、誘客機能施設関連の民間事業者の関与が不可欠である。
	指定管理方式 DBO方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○民間金融機関の金利より、起債の金利の方が低金利であるため、財政支出が少ない。 ○誘客機能施設の整備・運営において、民間のノウハウや創意工夫を活用することが可能である。 <短所> ○総合評価での事業者選定となるため、事業者選定に時間を要する。
	指定管理方式 PFI方式 コミュニティ機能施設 誘客機能施設	<長所> ○民間のノウハウや創意工夫を発揮できる余地を持たせることでコスト削減が期待できる。 ○誘客機能施設の整備・運営において、民間のノウハウや創意工夫を活用することが可能である。 <短所> ○公共と民間がそれぞれ施設を整備することとなるため、施設のコンセプト等を統一することが困難である。 ○起債の金利より、民間金融機関の金利の方が高いため、財政支出が多くなる。

資料

1. 検討経過

網野庁舎跡地については、多世代が集い、交流や地域の賑わいを創出する場となるように、（仮称）網野交流センター・交流広場整備に向けた基本計画の検討を行いました。検討にあたっては、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議で取りまとめた「京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（令和4年3月策定）」を踏まえながら、市民ワークショップ、ポスター展、網野町区長連絡協議会の開催、先進地視察を実施し検討を行いました。

開催日	項 目
令和5年11月26日	跡地活用ワークショップ（アミティ丹後）
令和5年12月 1日～11日	ポスター展（ら・ぽーとロビー）
令和5年12月12日	網野町区長連絡協議会
令和5年12月17日	跡地活用ワークショップ（アミティ丹後）
令和5年12月20日	大阪府泉大津市シーパスパーク視察（正副区長会長）
令和5年12月22日～28日	ポスター展（ら・ぽーとロビー）
令和6年 1月11日	網野町区長連絡協議会

(仮称) 網野交流センター・交流広場整備基本計画

発 行 月 令和 6 年●月

発 行 京丹後市役所 市長公室 網野市民局

〒629-3101

京都府京丹後市網野町網野 385 番地の 1

TEL : 0772-69-0713 FAX : 0772-79-3407
